

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童多機能型事業所 そらのいろ						公表日	令和7年2月5日		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	利用児童数	34名	回収数	27名
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	7	2	2	駐車場で遊んでいるので危険を感じる。	カラーコーンやバーを設置して対応しているが、今後より安全に活動できる方法を検討していく。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23			4		今後も利用人数に応じて適切な人員を配置できるように努める。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22			5	直接見に行く機会が少ないからあまり覚えていないが、分かりやすい構造にさせていたように思う。	送迎の都合で施設に来所する事が少ない保護者のために、SNSや広報で施設紹介をしていく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1		1	利用者が今よりも増えてくるようなら、それに合わせた空間を設定してもらいたい。	今後も清潔保持に努める。生活空間の確保に関しては、利用者の状態に応じて環境を設定していく。		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	24	1		2		今後も継続して研修等に参加し、さらなる知識・技術の向上に努める。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25			2		今後も利用者本人や保護者の意思に寄り沿った内容をプログラムに反映するよう心がける。		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1				今後も本人・保護者の意向を踏まえた上で、具体的な支援内容を計画書に記載するようにしていく。		
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	24	1		2		今後も、「本人支援」「家族支援」「以降支援」が分かりやすく適切に記載出来るように努める。		
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		1		必要に応じて本人・保護者・相談支援専門員等と意見交換を行い、計画内容が意向に沿っているか確認した上で支援するよう努める。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1		1		今後も、利用者の希望を確認し、日々の変化を十分にアセスメントしながらプログラムを立案していく。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	3	15	様々な行事を計画してくださってはいるが、地域との交流がなされているかは分からぬ。	今後は保護者の同意を得た上で、長期休暇等に地域のイベントや自立支援協議会のイベントへの参加を増やしていくよう努める。		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26		1			今後も、利用者負担等の変更がある場合や保護者からの問い合わせに對しては丁寧に説明するよう努める。		
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1		1		口頭での説明だけでは不十分になっていることも考えられるため、書面を提示しながら出来る限り詳しく説明するよう心がける。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	3	5	事業所内で勉強会等を設けてほしい。	自立支援協議会での情報交換会等の開催を知らせ、参加できるように声をかける。		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができているだと思いますか。	24	3			自宅に送つてもらった時に話しています。	必要や希望に応じて個別での相談支援を定期的に行っていく。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	4	1			今後も必要に応じて子育てに関する相談支援を行っていく。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1				今後も、支援する際にはまず本人・保護者の思いを受け止め、一緒に支援方法を考えいくよう努める。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	8	10	長期休暇などで普段どのように過ごしているのか見に行ける機会がほしい。保護者間の交流を増やしてほしい。	保護者の意向を踏まえた上で、保護者が快く参加できる会を計画していく。		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22		1	4		今後もご家庭での様子を十分に把握できるように保護者との関係をより一層深めていく、相談しやすい環境づくりを心がける。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1	1			今後も専門的な知識を高めていき、利用児や保護者との意思の疎通や情報伝達がよりよく行えるように努める。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	1				今後も広報の配布やSNSの更新を継続していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			1		引き続き個人情報の取り扱いに十分注意していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2		5		今後、こども家庭庁や兵庫県からの情報を受け取り、その内容を常時マニュアルに反映していく。また内容も適宜不備等がないか確認していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			7		避難訓練を実施したことについて、保護者に十分周知していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			4		適宜職員研修を実施し、適切な対応ができるようにしていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			5		事故があった時には保護者に連絡を迅速に行い、対応できるように努める。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27					今後も安心・安全を第一に支援していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27				毎週楽しみに通所しています。	子どもたちが楽しく事業所に通所できるように、職員一同日々工夫しながら関わっていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1		1	長期休暇など色々な所へお出かけに行けてありがたいです。	今後も子どもや保護者、地域の方々に満足していただけるような事業所になるよう職員一同成長していけたらと思います。